

喜劇王チャップリン (1968)

THE FUNNIEST MAN IN THE WORLD

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 91分

初公開日 1970/09/11

公開情報 MGM

【解説】

チャップリンの出生から無名俳優時代、はたまた一躍歴史的な大スターに上り詰めるまでの出演・監督作品の数々。22篇の名作を一作品づつを丁寧に解説して判りやすい入門編。キーストン時代のことからギャグのひとつひとつ、ライバル俳優、監督とのかかわり合いなど、今でこそ語られる素顔のチャップリン像がさまざまに見え、日本語解説の特集番組といったところだ。時系列的に数々名作を眺めてみると、彼の交友関係、特に女優の関わりかたでテーマとするものの変化があって味深い。「チャップリンの総理大臣」「チャップリンのパン屋」「他人の外套」、女装出演の「男か女か」「両夫婦」「醜女の深情け」「アルコール先生原始時代の巻」「チャップリンの役者」「チャップリンの改悟」「アルコール先生夜どおし転宅」「チャップリンの駆落」「チャップリンの失恋」「三つどもえ事件」「木賃宿」「チャップリンのスケート」「チャップリンの移民」「チャップリンの勇敢」を収録。

【クレジット】

監督	ヴァーノン・P・ベッカー	Vernon P. Becker
脚本	ヴァーノン・P・ベッカー	Vernon P. Becker
ナレーション	ダグラス・フェアバンクス・J r	Douglas Fairbanks Jr.
出演	チャールズ・チャップリン	Charles Chaplin